

# あつぎ郷土博物館NEWS5月号

好評  
開催中

融合展示は「水」から「火」・「光」へ  
きずい

## 依知で起こった奇瑞とは？

基本展示室中央の融合展示コーナーでは、新年度から新たに「火」・「光」をテーマとして、考古・歴史・民俗・生物の各分野で関わりのある資料に展示替えしました(=写真)。昨年は、「水」をテーマに、各分野が取り組みましたが、歴史分野では、新たに「花火」と「星降りの奇瑞」についてご紹介いたします。




日蓮宗の開祖・日蓮は、承久4年(1222)安房国長狭郡東条郷片海あわのくにながさくんとうじょうごうかたうみ（現在の千葉県鴨川市）で生まれた鎌倉時代の僧侶です。出家後、主に比叡山延暦寺で仏教への学びを深め、法華経が最も優れた經典であるとの考えに至りました。法華経の教えを広める過程で、日蓮やその弟子が鎌倉幕府や他の宗派を批判したため、幕府は反秩序的な言動であるとし、文永8年（1271）9月10日、日蓮を捕らえました。龍口たつのくち（現在の神奈川県藤沢市）において斬罪に処されるところを、許され佐渡に流罪となりました。

佐渡配流の途中、日蓮は愛甲郡依智郷を所領とする本間重連の屋敷に送られました。屋敷に到着した9月13日の夜、庭に立った日蓮は、法華経を誦え、月に向かい法華経行者を守護しないことを責めたところ、明星天子みょうじょう（太陽に先立ち、世界を照らし、闇を破る帝釈天の従者）と多くの星が現れたのです。梅木に懸かった星は「光」を放つと、童子の姿で日蓮の前に立ち、今後の守護を約束しました。これは日蓮宗にとって立教開宗の重大事りっきょうかいしゅう、「星降りの奇瑞きずい」と呼ばれています。リニューアルした融合展示のご見学、お待ちしております。

※「まん延防止等重点措置」等の関係により、今後も会期変更の可能性がります。詳細は博物館ホームページ等で御確認ください。

(御注意) 開館・行事は変更・中止になる場合があります。ホームページやフェイスブックを御確認ください。

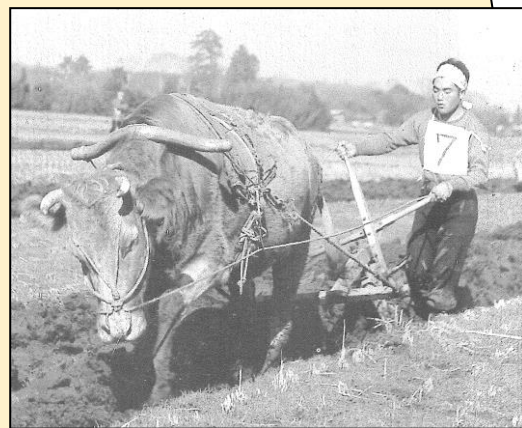
## 文化財保護課 5月の予定

日	曜日	行事内容	講師等	時間
 博物館が一つの地域に取り組む「厚木地域展」開催中 *5月1、8、15、22、29日、 <b>日曜ギャラリートーク</b> を14時から実施！				
12	木	あつぎの古文書解読会	古文書解読会 会員	13:00～ 16:00
<b>NEW</b>	14	土	地域展「厚木地域」関連講座 採って・見て・ふれて 感じるバッタの魅力 [講座番号:2258001] 受付は5/8(日)まで	当館学芸員 14:00～ 16:00
19	木	あつぎの古文書解読会	古文書解読会 会員	13:00～ 16:00
26	木	あつぎの古文書学習会	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
30	月	休館日		

### 事業報告

## ●厚木地域展 関連講座1「厚木の農機具屋」

「厚木地域展」を開催中です。オープンの3月26日に関連講座1「厚木の農機具屋 畜力犁の普及戦略」を行いました。町場の厚木地区には不似合いな農具ですが、農具を「流通」する拠点と考えての出展です。当日は、農機具屋の元店主、犁の使用者など多数の方のご参加を得て、興味深いお話も伺えました。犁の操作技術競技会の内容・審査基準、犁の次世代機であるメリーテラー（簡易耕耘機）導入時のこと…、展示では説明しきれない点が補完されました。資料から発信されたモノ、コトについて、紙面で報告してまいります。



●あつぎ郷土博物館 **開館時間** 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

**休館日** 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)

●古民家岸邸

**開館時間** 午前10時から午後5時まで(入館は午後2時30分まで)

**休館日** 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25～1/4

### 端午の節句

5/8まで  
開催中

※御来館の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前の検温、マスクの着用をお願いいたします。また、館内は人数制限を実施する場合があります。



(申込み・問合せ) **あつぎ郷土博物館**

〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515

[Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp](mailto:Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp)

FAX 046-246-3005